

空港整備事業

平成30年11月13日

内閣官房行政改革推進本部事務局

説明資料

日本国内の空港の内訳

(1) 会社管理空港(4空港)

空港会社が設置し、管理する空港。(成田、関西、伊丹、中部の4空港)

(2) 国管理空港(19空港)

国土交通大臣が設置し、管理する空港。

(羽田、新千歳、稚内、釧路、函館、仙台、新潟、広島、高松、松山、高知、福岡、北九州、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇の19空港)

(3) 特定地方管理空港(5空港)

国土交通大臣が設置し、地方公共団体が管理する空港。

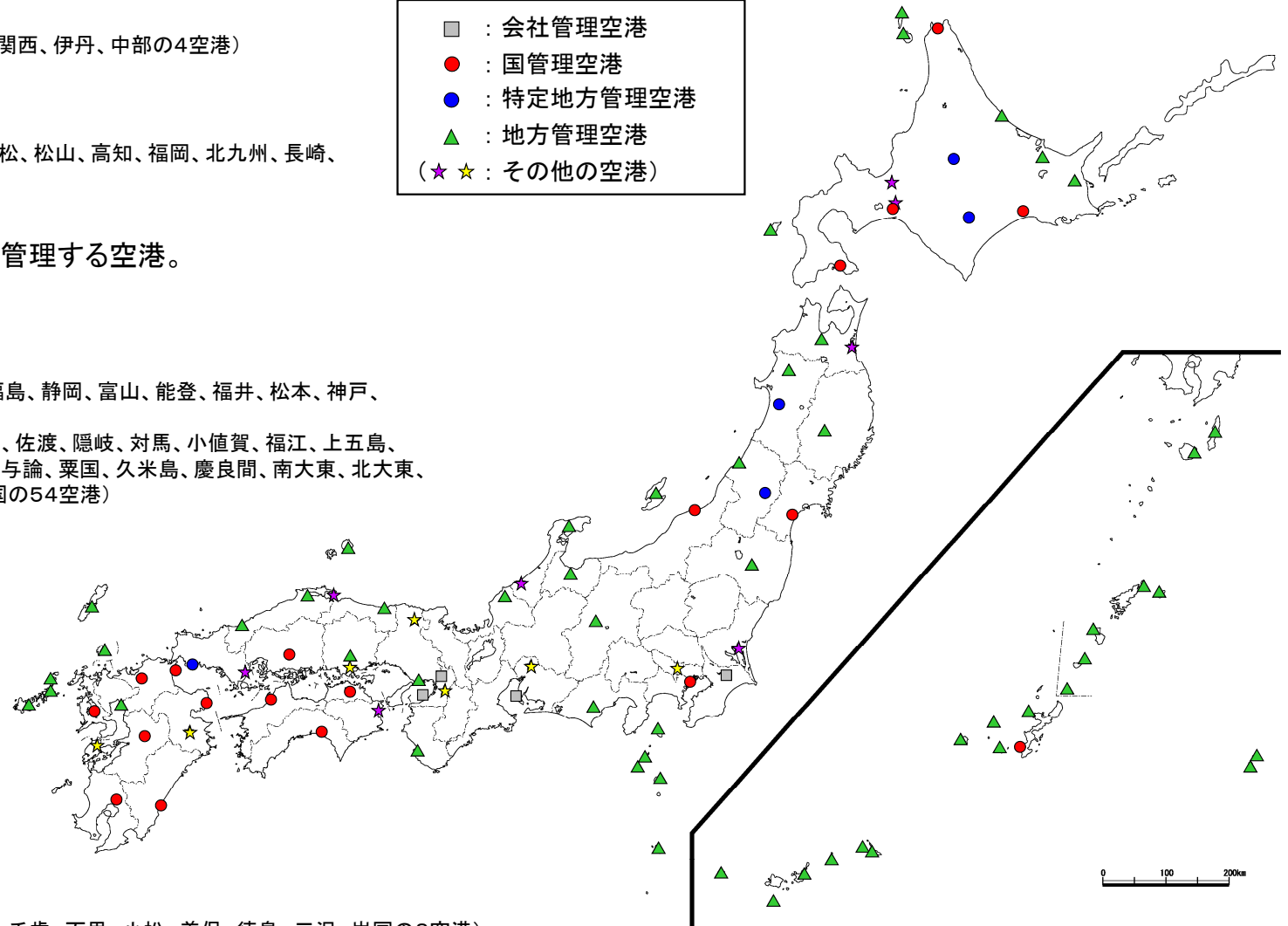
(旭川、帯広、秋田、山形、山口宇部の5空港)

(4) 地方管理空港(54空港)

地方公共団体が設置し、管理する空港。

(中標津、紋別、女満別、青森、大館能代、花巻、庄内、福島、静岡、富山、能登、福井、松本、神戸、南紀白浜、鳥取、出雲、石見、岡山、佐賀、利尻、礼文、奥尻、大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、佐渡、隠岐、対馬、小値賀、福江、上五島、奄岐、種子島、屋久島、奄美、喜界、徳之島、沖永良部、与論、粟国、久米島、慶良間、南大東、北大東、伊江島、宮古、下地島、多良間、新石垣、波照間、与那国の54空港)

- : 会社管理空港
- : 国管理空港
- : 特定地方管理空港
- ▲ : 地方管理空港
- (★ ★ : その他の空港)



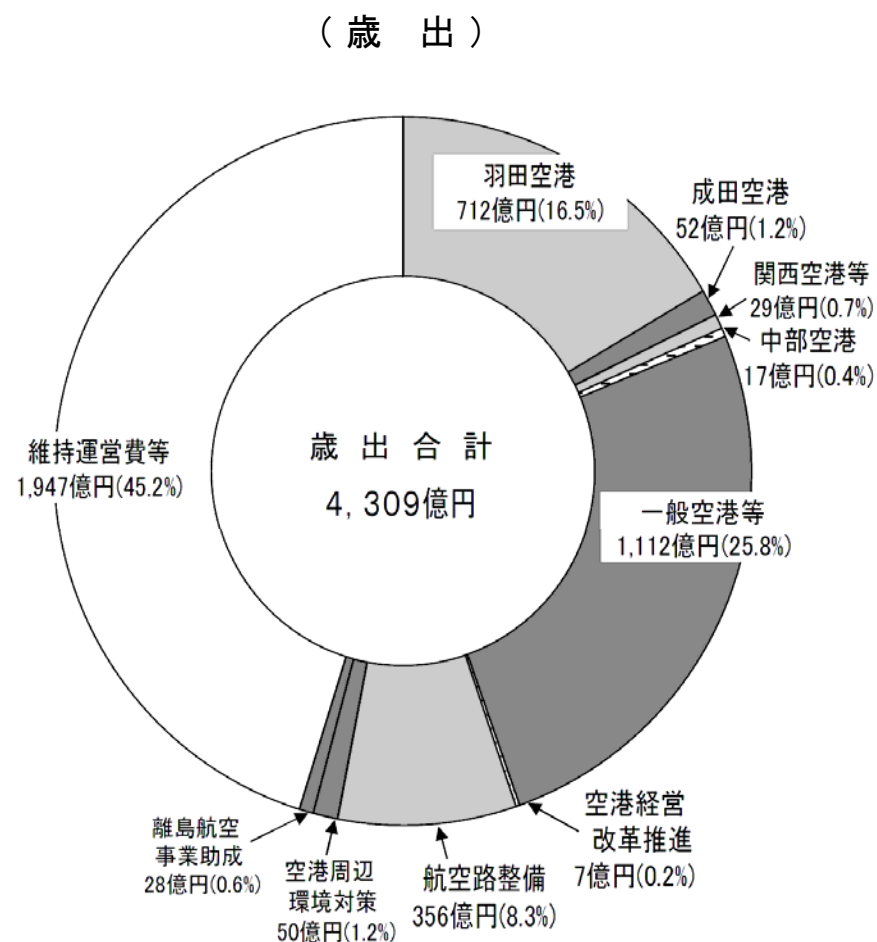
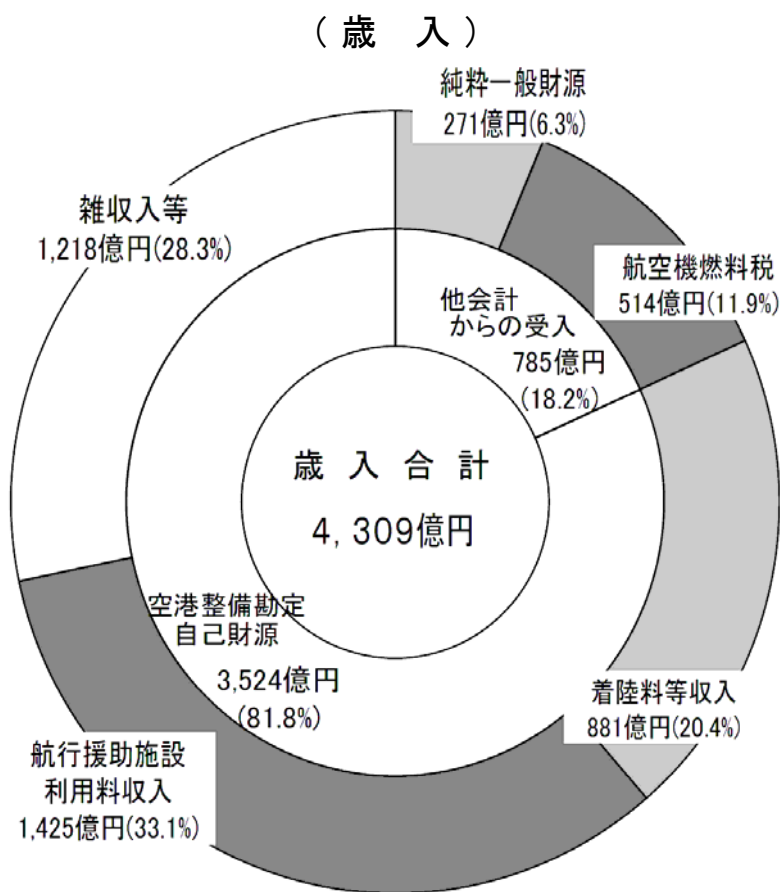
※その他の空港(15空港)

- ・防衛大臣や米軍が設置し、管理する共用空港(札幌、千歳、百里、小松、美保、徳島、三沢、岩国の8空港)
- ・国土交通大臣または地方公共団体が設置するその他の空港(八尾、調布、名古屋、但馬、岡南、天草、大分県央の7空港)

(出典) 平成30年度航空局関係予算概要より抜粋・加工

平成30年度の自動車安全特別会計 空港整備勘定の予算

空港整備勘定の歳入では、着陸料等の空港関連の収入や航空機燃料税収入の繰り入れがあるほか、純粋一般財源から271億円の繰り入れがある。歳出面では、既に整備の終わった国管理空港の維持管理費等が約45%であり、残りが（国・地方管理空港の）滑走路建設等の空港整備事業費等という構成となっている。

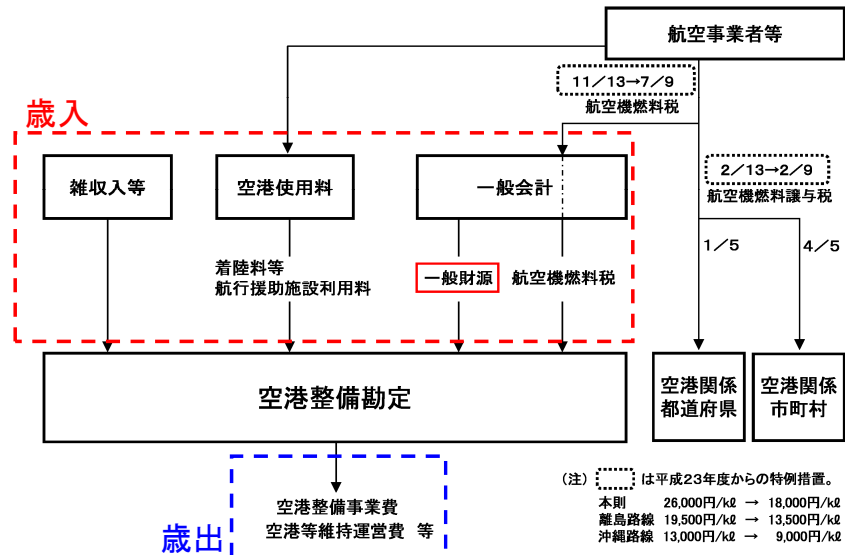


（出典）平成30年度航空局関係予算概要より抜粋

自動車安全特別会計 空港整備勘定の歳入と歳出の推移

(注) 平成19年度以前は空港整備特別会計、平成20～25年度は社会資本整備事業特別会計 空港整備勘定

■ 空港整備勘定の予算の流れ

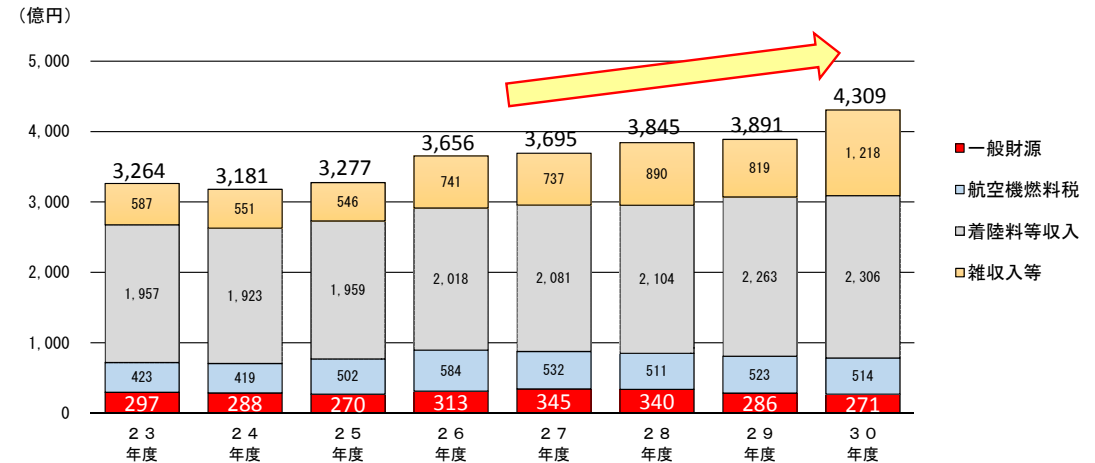


(出典) 平成30年度航空局関係予算概要より抜粋・加工

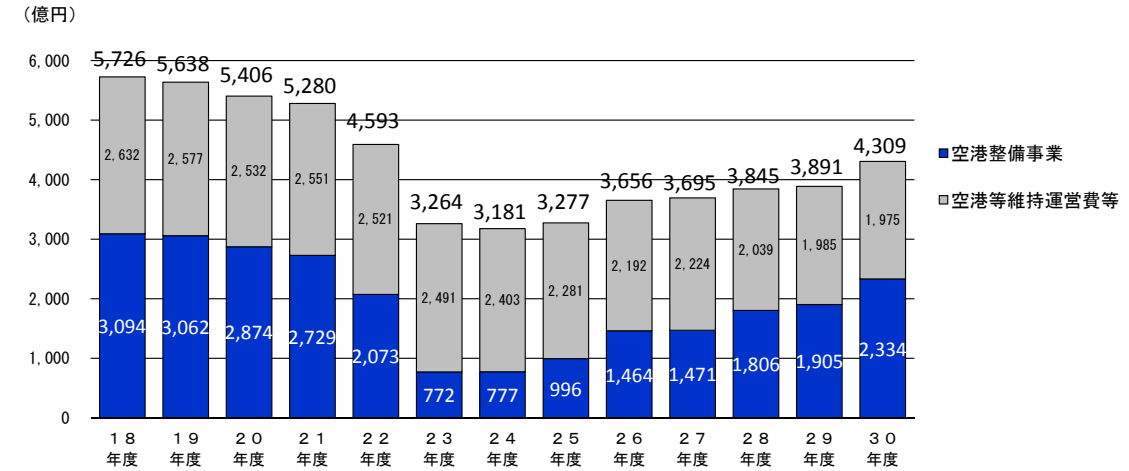
平成25年度頃より、訪日外国人旅行者を始めとした観光インバウンドの増加によって、着陸料等の収入をはじめとした空港整備勘定の財源が増加。

一方、空港整備勘定の歳出は、羽田空港の拡張工事等が終了した平成23年度以降、空港整備事業に係る歳出が減少したが、那覇空港の滑走路増設事業や2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた羽田空港等の整備が行われていることから、再び増加に転じている状況。

■ 空港整備勘定の歳入の推移(当初予算ベース)



■ 空港整備勘定の歳出の推移(当初予算ベース)



※ 空港整備事業は、羽田空港（工事費のみ）、成田空港、関西空港等、中部空港、一般空港等、空港経営改革推進、航空路整備、空港周辺環境対策等（事業費のみ）の総額

(出典) 平成18～30年度航空局関係予算概要より集計及び国土交通省から聞き取り

空港別収支の公表状況

■ 国管理空港の収支の公表

国土交通省ホームページにおいて、国管理空港※の毎年の収支を公表している。ただし、空港整備勘定の中で一体として整理されているので、各空港の収支は試算したものとして公表している。

※ 国管理のその他の空港(民航の利用が無い空港(千歳)を除く)を含み、コンセッションを実施した仙台空港を除く。

単位: 百万円

	航空系事業					非航空系事業					航空系事業+非航空系事業			
	営業収益	営業費用	営業損益	経常損益		売上高	営業費用	営業損益	経常損益		営業収益	営業費用	営業損益	経常損益
東京国際	76,259	67,341	8,919	28,204	東京国際	297,340	270,572	26,769	22,763	東京国際	373,600	337,912	35,687	50,968
新千歳	10,859	9,558	1,301	4,560	新千歳	63,435	58,391	5,044	4,469	新千歳	74,294	67,949	6,345	9,029
福岡	12,274	18,827	△6,552	△205	福岡	29,185	25,876	3,309	3,670	福岡	41,459	44,703	△3,243	3,465
那覇	5,462	11,816	△6,355	15,236	那覇	11,821	7,074	4,747	4,626	那覇	17,283	18,891	△1,608	19,863
稚内	51	1,618	△1,567	△735	稚内	156	146	10	11	稚内	207	1,764	△1,557	△724
釧路	219	1,466	△1,247	△928	釧路	647	505	142	133	釧路	866	1,971	△1,105	△795
函館	529	2,514	△1,985	△1,258	函館	2,780	2,257	523	484	函館	3,309	4,771	△1,462	△775
新潟	404	2,502	△2,098	△855	新潟	1,906	1,746	160	142	新潟	2,311	4,248	△1,937	△713
広島	1,037	1,728	△691	△227	広島	2,773	2,387	387	376	広島	3,810	4,114	△304	150
高松	684	1,594	△910	△299	高松	1,536	1,220	315	316	高松	2,220	2,815	△595	18
松山	940	1,921	△981	△216	松山	2,267	1,787	480	489	松山	3,207	3,709	△502	273
高知	435	960	△524	△486	高知	1,322	1,065	257	269	高知	1,757	2,025	△267	△217
北九州	596	1,409	△814	△810	北九州	1,203	1,030	173	164	北九州	1,799	2,439	△640	△646
長崎	996	2,058	△1,061	△558	長崎	5,452	4,988	464	479	長崎	6,448	7,045	△597	△79
熊本	1,089	1,805	△716	701	熊本	1,938	1,431	507	630	熊本	3,026	3,236	△209	1,331
大分	587	1,248	△660	324	大分	3,234	2,894	339	328	大分	3,821	4,142	△321	652
宮崎	986	1,547	△561	△382	宮崎	4,642	4,303	339	343	宮崎	5,628	5,850	△222	△39
鹿児島	1,587	2,114	△527	△308	鹿児島	2,769	2,395	374	383	鹿児島	4,356	4,510	△154	75
八尾	120	444	△325	△288	八尾	0	0	0	0	八尾	120	444	△325	△288
丘珠	33	428	△394	△390	丘珠	215	197	18	21	丘珠	248	624	△376	△369
小松	825	672	153	234	小松	2,182	1,987	195	254	小松	3,007	2,659	348	487
美保	206	333	△127	△124	美保	516	425	91	94	美保	722	758	△36	△30
徳島	464	493	△29	△22	徳島	760	730	30	35	徳島	1,225	1,224	1	13
三沢	69	408	△339	△37	三沢	193	182	11	16	三沢	262	590	△328	△21
百里	188	444	△256	△252	百里	390	378	12	11	百里	578	823	△244	△242
岩国	142	431	△289	△284	岩国	290	245	45	47	岩国	432	676	△244	△238
合計	117,041	135,679	△18,637	40,595	合計	438,953	394,212	44,740	40,553	合計	555,994	529,891	26,103	81,148

(出典) 空港別収支の試算結果について「平成29年度」(国土交通省作成)より抜粋

■ 地方管理空港の収支の公表

管理している地方公共団体等において対応しているが、国管理空港と同等の内容を公表しているところもある一方、公表内容が国よりも少なかったり、公表していなかったりとの対応がまちまちとなっている。

論 点

- 空港整備勘定独自の歳入が増加し、空港の整備計画が一段落している状況に鑑み、一般財源からの繰り入れのあり方を検討すべきではないか。
- 各空港の営業努力を推進するなど、自主的な収支改善のため、どのような取組を行っていくべきか。